

2/14 平成 24 年度美里町議会 ▶▶ 常任委員会合同視察研修会

よりよいまちづくりのために……

栃木県茂木町  
「道の駅」など、特色ある施策を学ぶ

エコ・グリーンツーリズムの取り組みやまちづくりについての特色ある施策や先進事例の視察のため、栃木県茂木町「道の駅もてぎ」に午前 10 時に到着し、古口町長、三村議会議長はじめ、議会事務局担当者の出迎えをいただき、「道の駅もてぎ資料館」で古口町長の歓迎あいさつや資料説明・町の特色や事業概要・人材育成等詳細なる説明を受けた。

道の駅は、町の情報発信基地として平成 8 年県内第 1 号の道の駅としてオープンし、年間 7 億円程度の売り上げを計上している。また、さまざま

なイベントを行ない特産品や農産物の販売、自然・史跡・レジャー等の情報の提供とパンフレット類も取り揃えている。

次の視察先の茂木町有機物リサイクルセンター「美土里館」は、不用品・廃棄物や地域の未利用資源（生ごみ・牛ふん・落ち葉・おがこ・もみがら・竹）の堆肥化や廃食油から BDF 燃料を製造する



道の駅もてぎ資料館

リサイクルを推進し、自然の持つ循環システムと人との共生を目指した施設である。この施設は家畜ふん尿と一般家庭からの生ごみをリサイクルすることで有機肥料の製造を行なっている、一石何鳥もの効果がある事業である。

次に遊休農地対策として、そば栽培に目をつけ、「そばの里まぎの」として都市農村交流を目指したむらづくりでの成功例施設や町有林の木材を活用した茂木中学校新校舎等、多くの事例を研修した。

行政指導型であるが、少子高齢化が進む中、遊休農地対策や新たな加工品製造や販売などに意欲的に取り組む事業であり、地域の盛り上がりが重要と感じた。また、美里町の最重要課題である町の拠点づくりにこの研修を生かしたいと思います。

文教民生経済常任委員会委員長  
櫻沢克幸



茂木町有機物リサイクルセンター「美土里館」

児玉郡町議会議長会後期研修会

地域の防災と危機管理について

講師：防災システム研究所 山村武彦氏

平成 25 年 2 月 5 日実施 於：神川町役場 2 階会議室

講師の山村武彦氏は、消防庁防災訓練活性化研究会委員をはじめ、多くの要職にあり、メディアにも出演され、執筆活動もされていると伺います。

講演会の中で、災害はいつくるかわからない、今地震が来てもおかしくない、情報収集をきちんとすれば、パニックは起きないといえます。そのためには、常に安全行動マニュアルを考え防災訓練の実施を行なうことが大事であり、もしも小さな揺れでも揺れを感じたら、机の下に潜るより先にドアを開き、逃げ口を確保し、直ちに\*安全ゾーンと呼ばれる場所へ移動することが大切であるといえます。また、火災が発生したら、知らせる、消す、助ける、逃げるのが大事で、備蓄品は 7 日分必要であり自分で準備しておけば、より安心できることでした。

向こう 3 軒両隣ということで、自助・近助・共助のサイクルを回していく、防災隣組という仕組みが地域によってはもう始まっているといえます。

行政は防災マニフェスト・ロードマップを活用した安全の仕組みづくりや内

外部のコミュニケーションづくりが大切であり、想定災害・時系列対応・演習も必要であると話していました。

いずれにしても、町民の生命・身体・財産を守るためにも、この研修会で学んだことを町政と議会と一丸となって進めていきたいと思えます。

総務建設常任委員会委員長 橋場倅男

※安全ゾーンとは？

著書の中で、地震発生時に、机の下に身を隠すより、ガラスや転倒落下物の少ない広いスペースで、いつでも次の避難場所に避難しやすい場所、あるいは、ドアが変形したり落下物などで閉じ込められたりしない場所を「安全ゾーン」と決めている。

オフィスであればフロアごとに、工場であれば作業者に近く転倒落下物の少ない場所に安全ゾーンを定め、揺れがおさまってからもっと広い屋外の避難場所に避難するよといと記している。



児玉郡市広域市町村圏組合議会

第 1 回定例会（3 月 27 日開催）

各施設等の予算

寿楽園（本庄市）	85 万 2,000 円
こだま聖苑（美里町）	7,059 万 9,000 円
湯かっこ（本庄市）	6,965 万 8,000 円
利根グリーンセンター（本庄市）	2 億 2,045 万 4,000 円
小山川クリーンセンター（本庄市）	10 億 1,292 万 7,000 円
埋立処分地（美里町）	941 万円
消防費（管内全域）	20 億 5,689 万 7,000 円

3 月 27 日に議会が開催され、新年度予算が決まりました。総額は 48 億 1,189 万 4,000 円で前年よりも 2 億 3,997 万 8,000 円の増額です。

歳入については、構成市町の負担金（77.4%）が大部分を占める 37 億 2,590 万 2,000 円であり、美里町の負担分は 4 億 365 万 8,000 円です。

増額の主なものは、消防費の庁舎建設費の計上によるものです。

（美里町選出議員 清水貞夫、柳瀬忠作）